

令和5年度 教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価に関する報告書
(令和4年度事業対象)



総合的な学習の時間（馬室小学校）

鴻巣市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	点検・評価の基本方針	1
III	「第6次鴻巣市総合振興計画」の政策1 子育て・教育・文化に関する政策～未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり～における施策と指標の関係	1
IV	点検・評価の方法	4
V	点検・評価の結果	4
	◎施策2：学校教育の充実	4
	◎施策4：市民文化・生涯学習の充実	20
	◎施策5：スポーツの振興	27
	◎総括	35
VI	結びに	36
VII	用語解説	37

I はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度に鴻巣市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行った結果についてまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 目的

平成19年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに広く市民に公表することになりました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法

本市の教育行政の主要施策については、市政運営の基本となる「第6次鴻巣市総合振興計画」に掲げられています。総合振興計画は、「人口減少の抑制と、人口減少社会への適応（準備）」を見据えた「持続可能な都市」の実現を目指し、合併後の街づくりをさらに発展させるために策定され、6つの政策、28の施策、101の基本事業からなり、それぞれ具体的な成果指標を設定し、評価・見直し・公表を行っていくという行政評価の手法を取り入れています。

したがって、この振興計画に掲げられている教育委員会の施策を対象とし、その指標の達成状況の把握を参考にしながら、点検・評価を実施しました。

また、教育に関し学識経験を有する方から、各施策の取組に関して、ご意見をいただきました。

III 「第6次鴻巣市総合振興計画」の政策1 子育て・教育・文化に関する政策 ～未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり～ における施策と指標の関係

今回の点検・評価に当たっては、総合振興計画の政策1における教育委員会各課と施設の3施策、13の基本事業を基に実施しました。13の基本事業には目的達成度を示す指標として13の成果指標があり、施策ごとの総合評価という観点で点検・評価を行いました。

点検・評価を行った施策と、それぞれの基本事業・成果指標の関係は次のとおりです。

教育委員会が取り組んでいる3つの施策と13の基本事業

施 策 名	基 本 事 業 名	基 本 事 業 の 成 果 指 標	頁
2 学校教育の充実 主管課：学校支援課	①確かな学力の向上 (学校支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対して意欲をもっている児童生徒の割合 ・埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合 	6
	②心の教育の推進 (学校支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある態度の児童生徒の割合 ・不登校児童生徒の割合 	8
	③健康・体力向上の推進 (学校支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しく、健康的な生活を送っている児童生徒の割合 (毎日朝食を食べる、1週間のうち1時間以上運動をすると回答) ・新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク(A,B,C)の児童生徒の割合 	10
	④学習環境の整備 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持管理上の不具合による教育支障件数 	12
	⑤小・中学校適正規模・適正配置の推進(教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準規模(12学級以上)小学校の割合 	12
	⑥学校・家庭・地域の連携と教育力の向上 (学校支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合 ・学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合 ・研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合 	13
4 市民文化・生涯学習の充実 主管課：生涯学習課	①生涯学習機会の充実 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習機会に関する満足度 ・生涯学習講座参加者数 ・図書館における電子書籍貸出点数 	21
	②芸術文化の振興 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術・文化に親しんでいる市民の割合 	22
	③伝統文化の保護・継承 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の指定文化財を知っている市民の割合 ・文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数 	22
	④生涯学習施設の利用促進 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内9公民館利用者数 ・市民1人当たりの図書等貸出点数 ・市内2文化施設の年間利用者数(クレアこうのす、こうのすシネマ) ・生涯学習施設の不具合による利用支障件数 	23

教育委員会が取り組んでいる3つの施策と13の基本事業

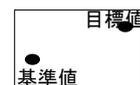
施 策 名	基 本 事 業 名	基 本 事 業 の 成 果 指 標	頁
5 スポーツの振興 主管課：スポーツ課	①スポーツをする機会の提供 (スポーツ課)	・スポーツイベント・教室参加者数 ・スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合	28
	②スポーツ施設の利用促進 (スポーツ課)	・スポーツ施設の年間のべ利用者数 ・スポーツの場・施設の満足度 ・スポーツ施設維持管理の不具合による利用支障件数	29
	③指導者・団体の育成と活用 (スポーツ課)	・スポーツ指導者登録数 ・総合型地域スポーツクラブ参加者数 ・スポーツ団体登録者数	31

IV 点検・評価の方法

基本事業別の達成度について、施策と基本事業の各成果指標値の推移を基に、基準値に対し、「順調」「改善傾向」「横ばい」「悪化傾向」「不調」の5つの評価を行い、その結果を事業ごとに成果状況の欄にお天気マークで図示しています。

マーク	評価	判定区分	内容
	晴れ	順調	目標値に向けて順調に推移しているもの。
	曇りのち晴れ	改善傾向	基準値は下回ってはいるが、前年に対して改善傾向にあったもの。
	曇り	横ばい	基準値に対して横ばいだったもの。
	曇りのち雨	悪化傾向	基準値を上回っているが、前年度に対して悪化傾向にあったもの。
	雨	不調	基準値も前年度の値も下回っているもの。

推移は基準値から目標値への数値移行を折れ線グラフで示しています。



V 点検・評価の結果

施策	2 学校教育の充実
施策の対象	児童生徒
施策の目指す姿	豊かな心と創造性をもち、はつらつとした学校生活を送っています。

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
学校での生活に満足していると回答している児童生徒の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	91.4	92.5	91.2					93.5		
	4年度の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導加配教員(または小学校専科指導加配)の配置(全小・中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いさいき先生(全小・中学校)、特別支援教育指導員(特別支援学級設置校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施 ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実(H29年度より配置) ・市教育委員会委嘱による学校課題研究の推進(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・特色ある学校づくり事業、学校花いっぱい運動事業等による豊かな体験活動の実施 ・体力向上推進委員会を中心とした児童生徒の体力向上や基本的な生活習慣を確立する取組 ・各学校応援団の活動推進 ・「のすっ子宣言」の宣言に即した取組 ・教育支援センターを中心とした、各学校、さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、専門教育相談員等と連携した教育相談体制の確立 ・特別支援教育の推進 成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の「学級での生活は楽しかったですか」という質問に回答した児童生徒の割合を指標としています。令和4年度の達成状況は、91.2%(小学校90.4%、中学校91.9%)であり、基準値(91.4%)より0.2%低い値となりました。今後も、各学校において家庭や地域と連携して、児童生徒のニーズに応じたきめ細かな指導を展開するとともに、各学校の教育課程のもとに、特色ある学校づくりの推進に努めてまいります。										

●教育委員会の自己評価

- 1 「確かな学力の向上」については、引き続き個に応じたきめ細かな指導や教育環境の整備を進めるとともに、教員の資質向上を図っていきます。また、各校における課題解決に向けた取組の中で成果が見られたものを紹介するとともに、ICTの効果的な活用を促していきます。
- 2 「心の教育の推進」については、埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の一部を指標とし、「規律ある態度の育成」としましたが、依然として高い数値を保っています。今後も、策定した「のすっ子宣言」の内容を踏まえ、各学校や家庭での規範意識の高揚を図る取組を進めるとともに、心の教育の推進や教育相談の充実により不登校の減少やいじめの根絶を目指した取組を進めていきます。
- 3 「健康・体力向上の推進」については、児童生徒の生活習慣や体力ともに比較的高い数値を保っているが、課題もみられます。体力向上推進委員会を中心に、児童生徒の体力の現状や課題を明確にし、各学校で課題解決に向けた取組を推進していきます。また、家庭とも連携を図り、基本的な生活習慣の徹底や体力の向上を図っていきます。
- 4 「学習環境の整備」については、施設維持管理上の不具合による教育支障件数は、0件で推移しており、雨漏り改修、トイレ改修工事など、学校からの報告や、計画に基づき適正に対応していることが要因と考えます。今後も一定の予算を確保し、安全な施設管理に努め、この数値を維持していきます。
- 5 「小中学校適正規模・適正配置の推進」については、笠原小学校と鴻巣中央小学校が令和4年3月31日をもって統合したため、基準値及び目標値も上回っています。しかし、今後は全国的な人口減少に伴い、市内全体の児童数は減少し、現在、適正規模の標準である学校も小規模校化していくことが想定されることから、教育委員会で定めた方針に基づき、適正配置等に関する取組を推進します。
- 6 「学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」については、平成23年度に市内全ての小学校と中学校で学校応援団が組織され、各種教育活動の充実が図られています。今般のコロナ禍において活動に制限がかかる状況ですが、保護者や地域の方々の協力をいただき、教育活動の充実や子どもたちの安全の確保に努めていきます。

基本事業	1 確かな学力の向上
-------------	-------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	-------------

基本事業の目指す姿	基礎基本の徹底が図られ、確かな学力が定着しています。
------------------	-----------------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
学習に対して意欲をもっている児童の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	81.6	80.5	86.3					91.0		
4年度の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実 ・少人数指導加配教員(全小学校)の配置による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生(全小学校)、特別支援教育指導員(特別支援学級設置小学校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施および大学生学習ボランティア、学校応援団等による学習補助 ・指導委員・研究委員による授業研究(指導形態・指導方法等の実践研究) ・市教育委員会等の委嘱による学校課題研究(2年間) ・鴻巣市教育委員会学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・初任者研修、若手教員研修(3年目教員研修)、転入教員研修等の実施 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 											
成果状況/達成度評価 市独自調査において、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した児童の割合を指標としています。学習に対して意欲をもっている児童の割合は、基準値(81.6%)と比較して4.7%高い値となりました。コロナ禍において、通常通りの学校生活が送れない中ではありますが、各校においては新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた継続的な取組とともに、ICTの効果的・積極的な活用等により、学びの推進や安心・安全な学校運営を行うことができた成果と考えられます。											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
学習に対して意欲をもっている生徒の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	71.4	70.5	68.3					77.0		
4年度の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導加配教員(または中学校専科指導加配)の配置(全中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生(全中学校)、特別支援教育指導員(全中学校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施および大学生学習ボランティア、学校応援団等による学習補助 ・指導委員・研究委員による授業研究(指導形態・指導方法等の実践研究) ・市教育委員会等の委嘱による学校課題研究(2年間) ・鴻巣市教育委員会学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・初任者研修、若手教員研修(3年目教員研修)、転入教員研修等の実施 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 											
成果状況/達成度評価 市独自調査で集計した、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した生徒の割合を指標としています。学習に対して意欲をもっている生徒の割合は、基準値(71.4%)と比較して3.1%低い値となりました。各学校で主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図っているものの、学習内容がより抽象化・高度化することがその要因の一つとして考えられます。今後、さらなるICTの効果的・積極的な活用等により、抽象的な内容をより具体化して学習するなど、生徒の意欲的な学びを推進してまいります。											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(小学校)	%	57.9	45.6	47.2					60.0		
(学校支援課)	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実 ・少人数指導加配教員(又は小学校専科指導加配)配置(全校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生の配置による個に応じた指導や支援の充実 ・教科指導委員・研究委員による授業研究の実践研究 ・市教育委員会等の委嘱による学校課題研究の取組(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による、各校の取組に対しての指導・助言 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 ・ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」かつ「協働的な学び」の実現にかかる研修及び指導資料の提供 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(小学校)は、基準値(57.9%)と比較して、10.7%低い値となりました。各学校において調査結果を活用したり、主体的・対話的で深い学びの視点での効果的な取組を共有したりすることで学習指導の見直し・改善を行っていますが、今後もICTの効果的な活用等も含め、児童の実態に応じたさらなる取組の充実を図っていきます。</p>										

<参考資料> 令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較						
	小学校4年生		小学校5年生		小学校6年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
鴻巣市	62.1	63.4	55.5	63.8	63.7	60.7
埼玉県	62.1	63.0	56.2	63.0	63.8	59.8

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(中学校)	%	51.6	46.9	48.4					60.0		
(学校支援課)	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導加配教員(または中学校専科指導加配)の配置(全中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生の配置による個に応じた指導や支援の充実 ・教科指導委員・研究委員による授業研究の実践研究 ・市教育委員会等の委嘱による学校課題研究の取組(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による、各校の取組に対しての指導・助言 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 ・ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」かつ「協働的な学び」の実現にかかる研修及び指導資料の提供 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(中学校)は、基準値(51.6%)と比較して3.2%低い値となりました。各学校において調査結果を活用したり、主体的・対話的で深い学びの視点での効果的な取組を共有したりすることで学習指導の見直し・改善を行っていますが、今後もICTの効果的な活用等も含め、生徒の実態に応じたさらなる取組の充実を図っていきます。</p>										

<参考資料> 令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較								
	中学校1年生		中学校2年生			中学校3年生		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
鴻巣市	59.8	59.3	58.4	55.6	60.7	57.1	54.7	54.6
埼玉県	58.8	57.7	57.1	52.7	59.0	56.3	57.1	55.9

基本事業	2 心の教育の推進
-------------	------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	------

基本事業の目指す姿	豊かな心が育まれ、よりよい人間関係が築かれています。
------------------	----------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
規程ある態度の児童の割合 【学校アンケート】	%	87.9	86.9	86.4					93.0		
<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴻巣市教育委員会における生徒指導委員会で「規程ある態度」の取組に係る情報交換 ・保護者向け広報誌「かけはし」の発行による家庭と連携した生徒指導(年2回) ・児童の発達段階に応じた計画的・継続的な指導と評価の工夫 ・各学校における学習規律、基本的生活習慣の確立の推進 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>学校ごとに「授業の約束」等の提示や実態把握の調査等、日々の教育活動においてその育成に努めておりますが、基準値(87.9%)を1.5%下回っております。しかし、個別の項目で「登校時刻や授業開始時刻を守ること」の児童の自己評価はほぼ90%を上回っております。その他においても、ほとんどの質問項目において80%を超えています。学校の日々の教育活動で規程ある態度の育成としては、一定の成果が出ているものと考えられます。</p>											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
規程ある態度の生徒の割合 【学校アンケート】	%	90.1	89.0	89.2					94.0		
<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴻巣市教育委員会における生徒指導委員会で「規程ある態度」の取組に係る情報交換 ・保護者向け広報誌「かけはし」の発行による家庭と連携した生徒指導(年2回) ・生徒の発達段階に応じた計画的・継続的な指導と評価の工夫 ・各学校における学習規律、基本的生活習慣の確立の推進 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>学校ごとに「授業の約束」等の提示や実態把握の調査等、日々の教育活動においてその育成に努めておりますが、基準値(90.1%)を0.9%下回っております。しかし、個別の項目で「登校時刻や授業開始時刻を守ること」「学習の準備」「集団の場での態度」の生徒の自己評価は90%を上回っております。その他においても、ほとんどの質問項目において80%を超えています。学校の日々の教育活動で規程ある態度の育成としては、一定の成果が出ているものと考えられます。</p>											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
不登校児童の割合 (小学校)	%	0.50	0.64	0.60					0.36		
(学校支援課)											成果状況/達成度評価 不登校児童の割合は、基準値(0.50%)を上回り増加しています。令和4年度は長引くコロナ禍により学級・学年閉鎖など登校不安が広がる状況の中、各学校の教育相談担当者や教育支援センターの相談員等による登校支援により、登校が図られたケースもありましたが、安定した登校までには至らない状況が見受けられました。 今後も学校の組織的な対応(管理職・担任・養護教諭・さわやか相談員・スクールカウンセラー等)、教育支援センター等での相談体制や適応指導教室の充実等を図っていきます。

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
不登校生徒の割合 (中学校)	%	3.96	5.47	6.35					2.92		
(学校支援課)											成果状況/達成度評価 不登校生徒の割合は、基準値(3.96%)を上回り、小学校と比べて、とても高い割合になっています。 令和4年度は長引くコロナ禍により学級・学年閉鎖など登校不安が広がる状況の中、各学校の教育相談担当者や教育支援センターの相談員等による登校支援により、登校が図られたケースもありましたが、安定した登校までには至らない状況が見受けられました。 今後も学校の組織的な対応(管理職・担任・養護教諭・さわやか相談員・スクールカウンセラー等)、小中間の連携の強化、教育支援センター等での相談体制や適応指導教室の充実等を図っていきます。

基本事業	3 健康・体力向上の推進
-------------	---------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	------

基本事業の目指す姿	運動に親しみ、健康な生活を送っています。
------------------	----------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
規則正しく健康的な生活を送っている児童生徒の割合 (毎日朝食を食べると回答) 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	96.4	97.3	96.8					98.0		
4年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会作成の保護者向け広報誌「ホップ・ステップ・ジャンプ」で、家庭でできる体力向上、免疫力を高める食事、食事と基本的生活習慣の大切さについて啓発 ・各校の学校保健委員会等における健康な生活についての啓発 成果状況/達成度評価 本市においては、朝食を「①必ず食べる」「②1週間に2～3回食べないことがある」児童生徒の割合は、基準値より0.4%上回り、目標値まであと1.2%となっています。引き続き、市体力向上推進委員会の取組である保護者向け広報誌や、各学校の学校保健委員会等における啓発を行い、各学校での食育の充実を図っていきます。											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
健康的な生活を送っている児童生徒の割合 (1週間のうち1時間以上運動をすると回答) 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	80.1	88.0	88.6					85.0		
4年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問、学校課題研究に係る授業研究会等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・体育実技講習会、体育授業研究会、体育研修会等への参加の促進 ・「小学校体育に関する調査」及び「中学校体育に関する調査」をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言 成果状況/達成度評価 体育の授業時間以外に、1週間のうち外遊びや運動・スポーツを1時間以上する日数のうち、「①ほとんど毎日する」「②ときどきする(週1～2日)」の割合は、基準値を8.5%上回りました。また、目標値(85.0%)も3.6%上回っています。しかし、「④まったくしない」の割合が依然として高い傾向にあり、運動する子とそうでない子、運動好きな子とそうでない子の二極化の傾向が見られます。引き続き、市体力向上推進委員会の取組である保護者向け広報誌による啓発や、各学校の体育授業及び体育的活動の充実にも努めることで、運動好きな児童生徒の育成を図っていきます。											

成果指標	単位	基準値 (R1)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
新体力テストの5段階 絶対評価で上位3ラン ク(A、B、C)の児童の 割合 (学校支援課)	%	83.5	77.7	78.9					87.0		
	4年度の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・各種実技講習会、授業研究会等への参加の促進 ・小学校体育に関する調査をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言 成果状況/達成度評価 <p>令和4年度の上位3ランク(A、B、C)の児童の割合は、目標値より8.1%、基準値よりも4.6%低下しました。要因として、コロナ禍における教育活動の制限等が挙げられます。令和5年度は、鴻巣市体力向上推進委員会委嘱の体力づくり授業研究会の開催・授業公開や学校訪問、各種実技講習会により、市内の教員の体育授業の質を高めていきます。</p>										

成果指標	単位	基準値 (R1)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
新体力テストの5段階 絶対評価で上位3ラン ク(A、B、C)の生徒の 割合 (学校支援課)	%	84.8	83.5	78.9					85.0		
	4年度の主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・各種実技講習会、授業研究会等への参加の促進 ・中学校体育に関する調査をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言 成果状況/達成度評価 <p>令和4年度の上位3ランク(A、B、C)の生徒の割合は、目標値より6.1%、基準値より5.9%下回りました。要因として、コロナ禍における教育活動の制限等が挙げられます。令和5年度は、鴻巣市体力向上推進委員会委嘱の体力づくり授業研究会の開催・授業公開や学校訪問、各種実技講習会により、市内の教員の体育授業の質を高めていきます。</p>										

基本事業	4 学習環境の整備
-------------	------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	-------------

基本事業の目指す姿	安全・快適な学校施設で学ぶことができます。
------------------	------------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
施設維持管理上の不具合による教育支障件数 (教育総務課)	件	0	0	0					0	←←← ·	
	4年度の主な取組 ・小学校: 田間宮小学校⑨棟トイレ改修工事の実施 ・赤見台第一小学校プール塗装等改修工事、赤見台第一小学校①-1棟トイレ改修工事、箕田小学校⑩棟屋上防水改修工事、松原小学校①-1棟、①-2棟屋上防水等改修工事について設計業務を委託し、完了 ・中学校: 吹上北中学校①棟トイレ改修工事、鴻巣中学校⑭棟、⑯棟屋上防水等改修工事、鴻巣北中学校①棟屋上防水改修工事を実施 ・鴻巣北中学校②棟トイレ改修工事について設計業務を委託し、完了										
	成果状況/達成度評価 安全で快適な施設管理上での不具合については、基準値同様の0件でした。改修計画に基づき、予定通り施設改修を実施しています。										

基本事業	5 小・中学校適正規模・適正配置の推進
-------------	----------------------------

基本事業の対象	学校、児童生徒
----------------	----------------

基本事業の目指す姿	より良い教育環境を創出するために学校の適正配置や通学区域の変更を行います。
------------------	--

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
標準規模(12学級以上)小学校の割合 (教育総務課)	%	57.9	57.9	61.1					60.0	↗ ·	
	4年度の主な取組 ・鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会を開催し、市内小・中学校の適正規模・適正配置の計画について答申書が提出 ・常光小学校は令和6年度に鴻巣中央小学校と統合、大芦小学校は令和6年度から令和9年度の間に吹上小学校と統合、小谷小学校は令和6年度から令和9年度の間に、吹上小学校のほか隣接する学校も含めて、通学区域の見直しについて検討、屈巢・共和・広田の川里地域の3小学校は令和10年度を目安に、川里中学校を含めた小中一貫校又は義務教育学校として新設 ・各答申に基づき、各地域で意見交換会等を実施 ・12月市議会定例会において、令和6年3月31日をもっての、常光小学校と鴻巣中央小学校の統合が承認										
	成果状況/達成度評価 令和4年3月31日をもって、笠原小学校が閉校となり、令和4年4月1日より鴻巣中央小学校と統合され、標準規模の小学校11校/18校となり割合が増えました。										

基本事業	6 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
-------------	-----------------------------

基本事業の対象	学校、家庭、地域
----------------	----------

基本事業の目指す姿	学校、家庭、地域が相互に協力・成長して、児童生徒を育む環境を構築しています。
------------------	--

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状 況
学校・家庭・地域が連携 していると思う保護者の 割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	73.7	90.5	91.7					95.0		

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状 況
学校応援団を含めた学 校ボランティア数の児童 生徒数に対する割合 (学校支援課)	%	29.6	30.4	31.5					46.0		

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状 況
研修や研究会での成果 を教育活動に積極的に反 映させていると回答した 学校の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	55.9	—	100					100		

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>令和4年度もアフターコロナで社会全体が混乱する中、安全安心な学校教育を推進していただいたことに感謝します。本事業は市の総合戦略の重点とされていますので、着実な成果を期待しています。基準値より低い値になったことは、昨年同様の方策では児童生徒の満足度を上げられなかったことの表れなので、実態やニーズをもう一度丁寧把握する必要があると感じました。</p>	<p>児童生徒の満足度を高めるためには「安心・安全で魅力ある学校づくり」が重要であると考えます。具体的には「他者の失敗や短所に寛容で、共感的な学級づくり」「学習内容がわからない、ついていけない児童生徒を出さないための指導方法及び指導体制の工夫・改善」、さらには「各学校の特色を活かした学校行事の実施・充実」等が挙げられます。現在、年に1度の埼玉県学力・学習状況調査の質問紙の結果から値を抽出しておりますが、実態・ニーズの新たな方法として現在実施している思いやりアンケート（小1～中3実施）の項目「あなたは、今、学校生活が楽しいですか。」等を活用し、細かな実態やニーズを丁寧に把握できるよう、各小・中学校に指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
2	<p>他市に先駆けて推進している GIGA スクール構想は多様な学びを拓く足掛かりになったと思います。学習意欲の伸び悩みについて、中学校では「学習内容の抽象化・高度化が要因の一つ」と、前年度から変わらない分析ですが、発達段階に応じた深い分析と効果を上げる手立てが必要かと思えます。</p> <p>県学調の正答率が県平均を上回った学校の割合も目標値との開きが大きい状態のままです。さらなる工夫改善が必要と思えます。</p>	<p>中学校における要因の一つとして考えられる「学習内容の抽象化・高度化」に対して、内容を具体化するなど、生徒の学習理解を促すために、ICT を積極的に活用することは有効な手立ての一つであります。</p> <p>引き続き、ICT の効果的な活用等を含め、児童生徒が日々の授業の中で「わかった」「できた」という成功体験ができるよう各校へ指導してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
3	<p>（「豊かな心の育成」「よりよい人間関係の構築」として、何を指標にするかが難しいと感じています。「規律ある態度」が指標として適切なのかと疑問が残るところです。しかしながら、）ほとんどの項目で 80%を超え 90%を上回るものもあるという成果を土台にして、課題が見られた項目を分析し重点的に対策を講じる必要があると思えます。</p> <p>不登校児童生徒の増加は全国的にも深刻な問題</p>	<p>規律ある態度の結果につきましては、成果とともに、課題を整理し、課題を家庭や地域とも共有し対応することも含め、児童生徒一人一人に寄り添った指導・支援が行われるよう各校へ働きかけてまいります。</p> <p>不登校児童生徒につきましては、学校での</p>

	<p>です。学校（教室）以外にも多様な学びの場や機会を設け、一人一人に寄り添った支援を今後もお願いします。教育支援センター等との連携・組織的支援の一層の充実を期待していますので、積極的な活用で効果につなげてほしいと思います。</p>	<p>支援はもちろんのこと、現在教育支援センターで行っている「Let's 教室における学習」、「臨床心理士等による個別相談」、「SSW（スクールソーシャルワーカー）による家庭訪問」等に加え、今後さらに学校と家庭、教育支援センターの連携を強化し、児童生徒の思いに寄り添った効果的な支援につなげてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
4	<p>市体力向上推進委員会や各校学校保健委員会の調査・研究、啓発活動が有効に機能して成果を上げていたと思いましたが、コロナによる運動不足・体力低下や二極化への対策として、授業・体育的活動の質の向上、社会体育等との一層の連携・充実を期待します。</p>	<p>市体力向上推進委員会や各校学校保健委員会では、市全体の課題を共有するとともに、各学校の実情に応じた取組を推進しております。</p> <p>本課としましても、各校における日頃の体育授業及び体育的活動の質の向上を図るとともに、社会体育等との連携についても、引き続き検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
5	<p>施設維持管理上の不具合による教育支障件数が「0」を継続しているのはありがたいと思います。学校の実態に応じて改修を計画的に進めていただき、環境による学びの格差が解消されつつあると思います。今後も学校現場の要望を適切に吸い上げて進めていただきたいと思います。</p>	<p>学校施設の老朽化は年々進んでおりますが、今後も鴻巣市公共施設個別施設計画に基づき、学校施設の実態を把握しながら、優先順位を付けて施設改修を進めてまいります。</p> <p>また、引き続き包括施設管理業務委託による各校月2回の巡回点検において、学校現場からの聴き取りとともに、不具合箇所を早期発見・改善に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
6	<p>笠原小学校・鴻巣中央小学校の統合で大きく進展したと思います。各地域での意見交換会等での丁寧な説明と対処のおかげで、計画が順調に進んでいると思います。それぞれ学校独自の課題や地域の問題、途上での新たな要望や気づきもあると思いますので、引き続き丁寧な対応をお願いします。</p>	<p>適正規模・適正配置の取組を進める上で、保護者を始めとした地域の皆さんの意見は大変重要であると考え、意見交換会だけでなく、地域ごとにアンケート、ワークショップ、懇話会を実施し、様々な方法で意見を伺ってまいりました。</p> <p>今後も意見交換会等を実施し、保護者を始めとした地域の皆さんからの意見等を伺いながら、丁寧な対応を心がけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
7	<p>「学校・家庭・地域連携の取組が積極的に行われている」と感じている保護者が多い反面、ボラン</p>	<p>委員ご指摘のとおり、地域によって差はありますが、学校応援団を含めたボランティア</p>

	<p>ティア数の伸び率は決して順調とは言えず、学校応援団の活動など、先細りが心配です。</p> <p>「研修による教育力・指導力の向上」の取組を参照すると、「学校・家庭・地域連携」の成果指標として妥当なのか疑問があります。</p>	<p>数の伸び率に課題が見られます。</p> <p>今後も本市の取組も掲載されております「埼玉県『地域学校協働活動』実践事例集」等による好事例の共有や、学校協働活動に係る研修会での成果の共有等を通して、学校応援団の活性化について働きかけてまいります。</p> <p>なお、基本事業名に「教育力の向上」、また、目指す姿に「相互に協力・成長して」とありますように、本課といたしましては、学校における教育活動の向上に資する指標の一つとして、「研修等での成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合を示すことは妥当と認識しております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
8	<p>「学習に対して意欲を持っているか」についてですが、ICTの取り組みによって、どのような変化があるのかを調査すべきではないでしょうか。もし、すでに調査をしているようでしたら、成果状況／達成度評価に盛り込むべきではないでしょうか。</p>	<p>現在、年に2回、児童生徒のICTに係るアンケートを実施しております。具体的にはICTスキル、粘り強さ、デジタル・シティズンシップ、ICTにおける自己調整です。ICTの活用は目的ではなく、手段ですので、よりよく活用した結果、「学習に対して意欲を持っているか」など、学習意欲や学力の向上等につながるものであり、そうした姿は現行の質問項目で見取れるものと認識しております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
9	<p>中学2年生の数学の正答率が市55.6、県52.7と市が上回っているのに対して、中学3年生の数学では市54.7、県57.1と逆転現象が起きてしまっています。市としてはその要因をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>埼玉県学力・学習状況調査は児童・生徒一人一人の学びの伸びを確認することを主な目的としております。そのため、中学校2年生から中学校3年生にかけて学力が低下したわけではございません。令和3・4年度比較をいたしますと、令和3年度の市55.3、県59.1と市が3.8ポイント程県を下回っておりますが、令和4年度ではその差は2.4ポイントと1.2ポイント程縮まっており、埼玉県の平均よりも大きな学力の伸びがあったことが分かります。今後も学力向上に向け、各学校へ指導・支援してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
10	<p>規律ある態度の児童生徒について。成果状況／達成度評価に規律の項目別の評価を掲示すべきで</p>	<p>規律ある態度に係る評価の項目別の示し方につきましては、引き続き検討してまいります。</p>

	<p>はないでしょうか。また、不登校の児童生徒に対しても調査しているのですか。こうした規律が不登校の児童生徒を苦しめている可能性も考えられます。必ずしも一律に数値を上げることにこだわるべきではないのでしょうか。</p>	<p>す。</p> <p>不登校児童生徒に対する調査につきましては、児童生徒個々の状況や学校の実情に応じて対応しています。</p> <p>委員ご指摘の通り、不登校児童生徒の中には、「規律に関する調査」の内容と自身の現状とを照らし合わせ、不安を感じてしまうことも考えられます。このような点も踏まえ各校においては、児童生徒の抱えている問題や思いを把握し、一人一人に寄り添いながら個々に応じた目標を設定し、その課題の克服に向け指導しております。引き続き、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう各学校へ指導・支援をまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
11	<p>小学校の不登校の児童の割合と中学校の不登校の児童の割合を比較すると、中学校が10倍程度多くなっています。その要因について、どのように分析を行っているのでしょうか。パソコンが1人1台支給される状況の中で、不登校の生徒がオンラインで授業を受けるなどもし事例があるならば、そうした記述を掲載するべきではないかと思えます。</p>	<p>不登校の要因について、現在様々な分析方法で検討しております。個に応じた効果的な支援につながるよう、引き続き調査・研究を進めてまいります。</p> <p>学習者用端末を用いたオンライン授業の実施は、個々の学びの保障につながる効果的な手立ての一つであると考えます。また、既に各学校の実態に応じて、オンライン授業を取り入れ、それにより不登校が解消したケースについての報告もありました。不登校対策においてこのように効果が期待できる事例については、市内の小中学校間で共有できるように情報提供してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
12	<p>「1週間のうち1時間以上運動をすると回答」について。基準値や目標値を上回っていることは評価できますが、指摘しているように運動していない児童生徒もいて、二極化しているとのことでした。従前のような画一的な授業内容だと、肌に合わず苦手意識を持つ子も出てくるので、児童生徒が取り組みやすい努力をしてほしいです。</p>	<p>市体力向上推進委員会では、「運動好きな児童生徒の育成」及び「運動習慣形成」を重点課題として捉え、活動をしております。本課としても、児童生徒の実態を把握し、個に応じた指導や取組を市内に広めるとともに、運動能力に関わらず、誰もが運動を楽しめる授業づくりについて継続的に調査・研究し、課題解決を目指してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

13	<p>「標準規模の小学校の割合」については、適正規模化を図るために、順次統合が進められる方向とのことで、廃校になる地域で意見交換会等を実施していることは評価できます。ただし、ただの意見出しの場にする事なく、保護者を中心に地域住民の方々を巻き込み、意見を形にするような努力を惜しまないでほしいです。</p>	<p>保護者をはじめとした地域の皆さんからの意見は大変貴重なものであると考えております。</p> <p>例えば、小谷地域の通学区域再編においては、当初は小谷小学校と吹上小学校との統合といった案を示しておりましたが、保護者等から箕田小学校や赤見台第二小学校も含めた再編を検討してほしいといった意見をいただいたことから、それらの意見も踏まえて、最終的な方向性を定めております。</p> <p>立場の違いにより、様々な意見があるということ認識した上で、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することが第一であるという考えを共有し、最善の方向性が導き出せるよう、今後も取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
14	<p>「研修や研究会での成果を積極的に反映させている」と回答した学校の割合が100%となっていますが、これは学校内で意見を集約している結果なのか、出席した教員が個別に回答しているのでしょうか。</p>	<p>本回答につきましては、埼玉県学力・学習状況調査の学校質問紙調査において、「よく行った」と「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合を合わせた数値としております。学校からの回答につきましては、管理職の指導のもと、学校の総意として回答したものと認識しております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
15	<p>学力を確実なものにするために、小学校1年生に対する教育の充実は、その後続いていく学習に対して大いに影響を与えると感じます。教科書で学ぶ中、その意味がイメージできずに『わからない』状態になり、そのまま学年が進んでいくことで、『わからない』状態が上乘せされているようなことは無いでしょうか。</p> <p>子どもたちは、誰でも、楽しいと思って学習したいと思っているはずですが、わからないことをそのままにして進んでいけば、次第に学校がつまらなくなり学習への意欲もなくなっていくのだと思います。</p> <p>基礎学力の充実があつてこそ、学校の勉強により一層興味を抱き学力の向上も望めるのではと考えます。そのために、ご家庭との連携を密にし、</p>	<p>委員ご指摘のとおり、「わかった」「できた」の経験が学力だけでなく、学習意欲の向上にもつながり、さらなる学びの原動力になり、その逆もまた起こります。そのため、「わからない」「できない」の経験を減らし、「わかった」「できた」の成功体験につなげ、学力及び学習意欲の向上につなげていく必要があります。</p> <p>本市といたしましては、きめ細かな指導を通して基礎学力の充実を図るため、「いきいき先生」や「学力向上支援員」等様々な会計年度任用職員を各校に配置しております。また、授業ではICTを効果的に活用し、イメージしにくい問題を理解する際、視覚的な側面からアプローチしたり、児童の学習への関心を高めたりすることで、「わかった」「できた」、そして</p>

	<p>基礎学力に不安がある子どもたちについて、早い段階で手を差し伸べることが必要なのではないかと感じ、小学校でのサポート体制の充実を図っていただきたいと思います。</p>	<p>て「楽しい」学習となるよう、支援しております。学習者用端末に導入されているデジタルドリルもその一端を担っております。</p> <p>併せて、家庭との連絡を密にし、より早い段階で児童の抱える不安や困り感を捉え、その解決を図りながら、学習意欲の向上を目指してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
16	<p>学習指導や児童生徒への生活指導は、日々大変なものだと思われます。先生方には、児童生徒と向き合う時間の充実をより一層図っていただきたいと思います。その為にも、膨大な事務処理等外注作業が可能なものを選定し発注することで、先生方の負担軽減になる事務サポートのようなポジションを多く導入することも良いのではないかと思います。</p>	<p>現在、本市では先生方をサポートするため市費会計年度任用職員として「学校事務員」や「いきいき先生」「学力向上支援員」「特別支援教育支援員」などを配置しています。その他にも、将来教員を目指している「大学生学習ボランティア」を募集し、関係校へ配置し、児童生徒の学習及び学校行事、部活動などへの支援もしております。</p> <p>これらのサポートスタッフの配置を工夫・充実させることで先生方の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を充実できるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
17	<p>心の教育の推進については、責任ある行動や人間関係の構築がとれるよう学校・家庭・地域におけるそれぞれの連携は不可欠であると思えます。不登校児童生徒一人一人の悩みの状況に合わせて、しっかりと寄り添った支援をお願いしたいと思います。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、不登校児童生徒が抱える問題は多様化しており、一人一人の思いに寄り添った継続的な支援が重要であると考えております。具体的には「学校を中心とした電話連絡や家庭訪問等における児童生徒への継続的な関わり」、「スクールカウンセラーやさわやか相談員による個別相談等の支援」、「スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問での家庭への支援」、「教育支援センターによる専門的な助言を含めた教育相談」等、学校・家庭・地域が一体となり、「心の教育の推進」に重点を置いた効果的な支援につながるよう、今後も支援体制の構築や連携の強化に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

施 策	4 市民文化・生涯学習の充実
------------	-----------------------

施策の対象	市民
--------------	----

施策の目指す姿	多様な文化にふれあう機会や生涯学習に取り組む市民が増えています。
----------------	----------------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
生涯学習に取り組んでいる市民の割合 【市民アンケート】 (生涯学習課)	%	50.4	56.6	57.7					61.0		
	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い教養の取得と共に、仲間づくりや地域への理解を深めることを目的として、文学、自然科学、社会保障等様々なテーマで市民大学講座「こうのとりアカデミー」を開催 (R4.6.28～R5.2.14 開講式・閉講式含み19回) 受講者88名 教養の向上を図ることを目的に『幕末土佐の「相棒」』と題し、明治維新史学会会員・東洋大学大学院博士後期課程の小林哲也さんによる市民教養講座を開講 (R5.2.8～3.8 全3回) 受講者61名 文化センター小ホールでの成果発表や指導者による体験コーナー、展示コーナー等を設け、学習の機会を提供し、自分にあった生涯学習を見出してもらうため、生涯学習フェスティバルを開催 (R4.11.26) 当日参加者1,109名 (各コーナーへの来場者・出演者数の合計) 市民大学講座「こうのとりアカデミー」、生涯学習フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じて3年ぶりに開催 各公民館・生涯学習センター (9館) において、青少年向け講座・成人向け講座・高齢者向け講座を開催 図書館 (3館) においては、3館共通事業及び各図書館での単独事業については、三密を避け、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で、各種講座 (子ども向け・一般向け) を開催 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>生涯学習に取り組んでいる市民の割合は、基準値 (50.4%) と比較し、7.3% 増加、前年度 (56.6%) に比べ 1.1% 増加しました。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策で中止、縮小していた事業が再開したこと、サークル活動や施設利用を控えていた市民が、ウィズコロナを踏まえた「新しい生活様式」に適応した講座への参加やサークル活動を再開したことが影響したものと考えられます。</p> <p>目標値達成に向け、社会環境の変化に対応し、ウィズコロナを踏まえた「新しい生活様式」に適応できる講座企画等を行い、継続的に活動できるよう生涯学習の場の充実を進めます。</p>										

●教育委員会の自己評価

<p>1 「生涯学習機会の充実」については、成果指標の生涯学習機会に関する満足度は基準値と比較して増加しましたが、公民館での講座参加者数は基準値と比較して減少しました。また、図書館における電子書籍貸出点数は前年度の数値と比較して増加しました。一部の講座においては電子申請を実施し市民の利便性を図り、新規参加者の拡大に努めています。</p> <p>今後も、市民が安心して施設利用ができるように新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、住民ニーズの把握に努め、講座参加者の終了後の仲間づくりやサークルなどが結成でき、生涯学習活動が継続していけるような環境づくりを目指すなど、工夫していく必要があると考えます。</p> <p>2 「芸術文化の振興」については、指標が、趣味 (茶道、絵画、音楽等) ・芸術鑑賞を行っている、伝統芸能・国内の風土や伝統に親しむ人の割合となっており、基準値と比較して増加しました。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を徹底した中で各施設との連携を図りながら、芸術文化活動に親しむ機会の提供について検討していきます。</p> <p>3 「伝統文化の保護・継承」については、指標が、市内の指定文化財を知っている市民の割合となっており、基準値と比較して減少しました。</p> <p>貴重な文化財を適切に保存・活用し、次世代に継承していくことが重要であると認識しており、今後も出前講等を活用していただく中で、直接市民と対話をしながら文化財のPRに努めてまいります。</p> <p>4 「生涯学習施設の利用促進」については、公民館利用者、クレアこうのす・こうのすシネマ利用者は基準値と比較して減少となっていますが、市民一人当たりの図書等貸出点数は基準値と比較し増加しています。</p> <p>人口減少や趣味の多様化及び新型コロナウイルス感染症の影響で、新規利用者を大幅に増やすことは難しくなっていますが、各施設において、社会の変化に対応できるよう地域住民のニーズを捉え、利用促進につなげていきます。</p> <p>市民文化・生涯学習は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による閉塞的な風潮の中、市民生活に潤いと活力を与え、「人輝くこうのす」の実現に欠くことができないものであり、成果指標の向上を目指して、事業を推進します。</p>

基本事業	1 生涯学習機会の充実
基本事業の対象	市民
基本事業の目指す姿	学習の機会が充実して、多くの市民が参加しています。

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
生涯学習機会に関する 満足度 【市民アンケート】	%	78.0	77.5	82.1					79.8		
(生涯学習課)											成果状況/達成度評価 生涯学習機会に関する満足度が、基準値(78.0%)と比較して4.1%増加しており、昨年度(77.5%)と比較しても4.6%増加し、目標値を達成しています。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた事業が再開し、市民が求める講座事業等が実施できたこと、公民館や図書館、そしてコミュニティセンター等市内公共施設で活動を再開するサークル、団体が増えてきたことが原因として考えられます。今後も引き続き目標値達成に向けて、市民が安心して活動を継続できるように、感染症対策を講じた上で市民のニーズに合った講座企画と周知に努めます。

成果指標	単位	基準値 (H28～R2平均)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
生涯学習講座参加者数	人	12,181	4,620	4,820					14,000		
(公民館)											成果状況/達成度評価 公民館等の講座参加者数は、前年度と比較して講座回数が増えたこともあり、200人増加していますが、基準値と比較すると、7,361人の減少となっています。要因としては、前年度まで新型コロナウイルス感染症拡大により、主催講座の制限をかけていましたが、おおむね予定どおり主催講座を開講できたことが考えられます。電子申請を一部の講座で実施したことで、申込者の利便性を図ったこともあり、対前年度比で参加者が増加したと考えられます。基準値と比較すると大幅減となっていることから、市民ニーズを広く把握し、デジタルトランスフォーメーション事業等の新しい視点を持ち、事業拡大により、利用者の増加を図っていきます。

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
図書館における電子書籍貸出点数	点	—	3,032	7,554					2,100		
(生涯学習課)											成果状況/達成度評価 図書館における電子書籍貸出点数は前年度(3,032点)と比較して4,522点増加し、目標値を達成しています。 図書館における電子図書館講座や各種事業において電子図書館サービスの周知啓発に努めたことが要因として考えられます。今後も電子図書館の利用促進を図るため、積極的な周知と広報に加え、新しいサービスへの順応を進めていきます。

施 策	2 芸術文化の振興
-----	-----------

施策の対象	市民
-------	----

施策の目指す姿	市民が芸術文化にふれあう機会が増えています。
---------	------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況	
芸術・文化に親しんでいる市民の割合 【市民アンケート】	%	40.7	47.4	57.0					62.9			
		4年度の主な取組 ・各公民館・生涯学習センター(9館)において、「しめ縄作り教室」、「子ども絵画教室」、「子どもハーバリウム教室」、「歴史講座」、「コンサート」などを開催 ・図書館(3館)において、「バリアフリー映画会」、「絵本作家講演会」、「図書館ライブ」、「読書の木」などを開催 ・地域文化の振興に寄与することを目的とした須田剋太展を開催 ・市民文化祭の「作品展」、「芸能発表会」、「囲碁大会」、「鴻響楽」を実施 「秋の茶会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止										
		成果状況/達成度評価 芸術・文化に親しんでいる市民割合は基準値と比較し、16.3%増加しました。 要因としては、公民館・図書館等の社会教育施設やクリアこうのす・こうのすシネマ等の文化施設において、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着きを見せるなか、各施設の利用制限が緩和されたことにより、施設を利用する人が増えたためと考えられます。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を打ち出し、安心して施設利用できることを周知し、様々な世代が芸術文化に触れ合う機会となる講座やイベントの企画立案をし、市民文化の向上につなげていきます。										

施 策	3 伝統文化の保護・継承
-----	--------------

施策の対象	市民
-------	----

施策の目指す姿	文化財や伝統芸能を保護・継承し、活用しています。
---------	--------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況	
市内の指定文化財を知っている市民の割合 【市民アンケート】	%	65.4	61.4	63.5					72.0			
		4年度の主な取組 ・郷土芸能保存団体(4団体)への補助により活動を支援 ・文化財啓発のため、文化財説明板(日枝神社(小谷))を設置 ・鴻巣御殿模型のメンテナンスを実施 ・職員出前講座「触って学ぼう鴻巣の歴史」を実施(3回)										
		成果状況/達成度評価 市内の指定文化財を知っている市民の割合は基準値と比較して1.9%低下しました。 要因としては、無形文化財の披露等が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の団体で規模を縮小したものとなり、市民の目に触れる機会が少なかったことが考えられます。 今後は市指定文化財がより市民の目に触れる機会を増やすためのさらなる取組が必要と考えます。										

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況	
文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数	件	0	0	0					0	***		
		4年度の主な取組 ・指定文化財移動調査及び現地確認により文化財の現状を把握										
		成果状況/達成度評価 文化財のき損・滅失・亡失・盗難数は0件でした。										

施策	4 生涯学習施設の利用促進
施策の対象	市民
施策の目指す姿	生涯学習施設が整備され、多くの市民に利用されています。

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
市内9公民館利用者数 (公民館)	人	291,078	208,240	246,652					300,000		
	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人向け講座では「避難所講座」や「スマホ講座」「男の料理教室」等を開催、また、地域の歴史講座「獅子舞」「鴻巣御殿」等を開催 青少年の講座では「夏休み読書感想文の書き方講座」や「夏休み親子木工教室」等を開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため中止だったサークルや地域との協働による公民館まつりやふきあげ音楽祭等は感染対策を徹底し、3年ぶりに開催 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>公民館利用者は基準値(291,078人)に比べると15%減少していますが、対前年度(208,240人)と比べると18%の増加となっています。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、各種講座及び貸館業務を行いました。今後は、利用者数増加を図るため、システム予約の利便性の向上、多様なニーズに対応した講座等を積極的に実施し、利用者の増加を図っていきます。</p>										

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
市民1人当たりの図書等貸出点数 (生涯学習課)	点	4.21	5.38	5.43					6.05		
	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で開館を継続し、実施した講座についても定員を減らすなどして三密を避け対応 おはなし会をボランティアと協働で実施 「大人の教養講座」「大人の趣味講座」を開催 「読書の木」「本のお楽しみ袋」等、資料貸出につながる事業を実施 <p>これらの企画事業を行い、図書館へ来館する動機になる機会を提供することで、新規利用者を拡大</p> <p>成果状況/達成度評価</p> <p>市民1人当たりの図書等貸出点数は、基準値(4.21点)と比較し、1.22点増加しました。対前年比(5.38点)では、0.05点増加しています。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施していた利用制限が解除され、施設利用を再開する利用者が増えたこと、鴻巣中央図書館では休止していたカフェサービスを再開するなど各館において読書環境の整備、利用者サービスの向上に努めたことが原因として考えられます。今後も、図書館の利用ニーズに応えた蔵書を充実させ、市広報紙や図書館のホームページを活用して、図書館利用促進のための周知を行います。</p>										

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
市内2文化施設の年間 利用者数(クレアこうの ず、こうのずシネマ)	人	497,574	443,906	483,582					530,000		
	4年度の主な取組										
	<ul style="list-style-type: none"> ・クレアこうのずでは文化芸術振興事業や鑑賞事業を中心に年間37件の事業を開催、また、文化芸術振興支援事業を行い、市民が文化に触れる機会を提供 ・こうのずシネマでは、通常の映画上映のほか、旧作上映やライブビューイングを開催 										
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価										
<p>年間利用者数は基準値と比較すると13,992人減少していますが、前年度から比較すると39,676人増加しました。</p> <p>両施設とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらの運営となりましたが、感染対策徹底やサービス向上に努めたことにより、前年度と比べて、利用者数が増加したと考えられます。</p>											

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
生涯学習施設の不具合 による利用支障件数	件	0	0	0					0		
	4年度の主な取組										
	<ul style="list-style-type: none"> ・川里図書館において空調機の不調による暖房の使用不可が1月に発生したが、温風器(ヒーター)を複数台設置するなど対策を講じ開館時間の短縮を実施することで暖房復旧までの期間、休館することなく開館 ・笠原公民館の高天井からの雨漏りを改善するため、高天井トップライトドーム修繕工事等を実施 ・常光公民館において、消防用非常用発電機が故障したため、更新工事等を実施 <p>この他各館で修繕を実施し、利用者の活動に支障はなし</p>										
(生涯学習課) (公民館)	成果状況/達成度評価										
<p>令和4年度の生涯学習施設の不具合により、利用者の活動不可となった件数は0件を維持しています。</p> <p>施設老朽化により、今後施設利用に支障をきたす事態の発生が想定されますが、引き続き施設の適正な維持管理に努め、計画的な施設修繕に取り組めます。</p>											

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	生涯学習に取り組んでいる市民の割合が順調に伸びてすばらしいと思います。市民の生涯学習意欲の高まりを感じます。	<p>コロナウイルス感染症の影響が収まりつつある状況の中、おおむね予定どおり事業を再開することができました。今後も生涯学習の提供に積極的に取り組んでまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
2	生涯学習機会に対する満足度はぐんと増加したものの、参加者数が伸びなかったのは残念でした。公民館利用者数についても同様に、新たな展開を期待します。	<p>地域社会の多様なニーズに応じた講座等を積極的に実施する等、学習や文化活動の機会を充実させ、公民館・生涯学習センター利用者の増加を図ってまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
3	生涯学習施設の不具合による利用支障件数0件を維持しており、素晴らしいと思います。	<p>公民館・生涯学習センターや図書館等の生涯学習施設については、利用者の利便性に影響を及ぼさないよう施設の適正な管理を行っております。今後も多くの方が安全安心にご利用できるよう適正な施設管理・運営を継続してまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
4	文化財の取り扱いについて、き損等が0件なのは大事なことです。鴻巣市にいまだに郷土資料館がないのが残念です。子どもたちへの郷土意識を芽生えさせる意味でも文化財を積極的に公開することも検討してほしいです。	<p>郷土資料館などの施設の要望については、各方面からお声を頂いており、施設の設置について、可能性を探っている状況です。すぐに解決できる内容ではありませんので、現状ではクレアこうのすの歴史民俗資料コーナーや吹上生涯学習センターのギャラリー等を利用し文化財等を積極的に公開していきたいと考えております。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
5	<p>生涯学習の充実については、生涯学習に取り組む市民の割合が増加傾向にあることは、日頃より住民のニーズを把握し活動してきた成果だと思えます。さらに、生涯学習施設の不具合による利用支障件数0件を維持していることは素晴らしいです。</p> <p>こうのすシネマは、ここ数年のコロナ禍でも、密にならず安心して利用できる映画館でした。これらの施設を含めて、今後も運営していただきたいと思えます。</p>	<p>施設を多くの市民の方に利用していただくためには、市民ニーズを把握することが重要であり、今後もアンケートの実施等で市民ニーズを把握し、施設運営や講座事業の参考としたいと考えております。また、こうのすシネマでは、コロナ禍においても多くの方に利用いただきました。今後も各施設において、より利用しやすい施設、魅力的な事業開催を念頭に管理運営してまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>

6	<p>生涯学習というと、比較的、高齢の方々を対象としたイメージがあります。一つの学習やスポーツの機会が、年齢に関わるものでは無いと思えるような、名称があると年齢の若い方たちも参加しやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>生涯学習での事業においては、対象年齢は限定しておりませんが、特に機構改革に伴い、市長部局に子どもや子育てに関する事業が集約された影響もあり、より高齢者を対象としたイメージがあるのではないかと思います。現在、公民館・生涯学習センターや図書館等でも積極的に子ども関連の事業を企画実施していますが、今後もイメージにとらわれることなく、各年齢層が参加しやすいよう内容や名称等を工夫し企画運営してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】【公民館】</p>
---	---	---

施 策	5 スポーツの振興
------------	------------------

施策の対象	市民
--------------	-----------

施策の目指す姿	多くの市民が自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツに親しんでいます。
----------------	---

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合 【市民アンケート】 (スポーツ課)	%	55.4	59.4	55.8					60.0		
	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのスポーツ活動では、総合型地域スポーツクラブの参加者数269人、スポーツ団体登録者数6,666人(うちスポーツ少年団指導者395人) ・ラジオ体操の普及促進を目的に、11月と3月にラジオ体操講習会を開催し、延べ221人が参加 ・歩数計を貸与の他、歩いた歩数に応じてポイントがたまり、埼玉県産の農産物が抽選で当たる埼玉県のコバトン健康マイレージ事業への参加者は5,248人 <p>成果状況/達成度評価 (状況)週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合は、基準値(55.4%)と比較して、0.4%向上しました。 (要因)近年、健康志向が高まり、スポーツ活動を行う住民の割合が増加しているほか、新型コロナウイルス感染症対策を講じて気軽に参加できる事業を企画・実施した結果、対前年度比を上回ることになりました。今後も「いつでも、どこでも、だれもが」行えるスポーツの普及推進や感染症対策をした魅力あるイベント等で、スポーツに関心の低い世代の方々の身体を動かす動機付けとして事業展開を図っていきます。 なお、令和5年度以降は、健康運動器具地域促進事業、健康体力づくり推進事業、健康ウォーキングポイント事業が健康づくり課へ移管されます。</p>										

●教育委員会の自己評価

<p>1 「スポーツをする機会の提供」については、スポーツイベント・教室参加者数を成果指標としています。対前年度比では、感染症対策を講じて一部イベントや教室が一部開催されたため、基準年度より参加者数が増加しておりますが、目標値を大きく下回る結果となりました。一方では、スポーツイベントの機会が十分だと思ふ市民の割合は、目標値を大きく超えており、現状の各種スポーツ事業が市民のニーズに則した結果であると考えられます。今後は、少子高齢化に伴う市民の健康増進や余暇時間を活かした生きがいづくりなど、スポーツへのニーズはますます増加することが想定され、社会環境の変化に対応したスポーツイベントや教室を展開し、スポーツを始めたい市民に気軽にできるニュースポーツ等の普及促進や環境・機会づくりを意識した事業を推進していく必要があると考えます。</p> <p>2 「スポーツ施設の利用促進」については、スポーツ施設の年間延べ利用者数を成果指標の一つに設定していますが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和されるとともに、指定管理者による施設のイベント等のPR効果もあったため、令和2年度の利用者数と比べ、大幅な増加となりました。今後も引き続き、感染症対策を講じながら、指定管理者のノウハウを生かした運営による施設の利用促進を図っていきます。</p> <p>3 「指導者・団体の育成と活用」については、スポーツ団体の登録者数を成果指標にしています。コバトン健康マイレージやラジオ体操など、個人や少人数でスポーツや運動をされる方が増えており、団体での活動者数が全体的に減少傾向にあります。また、少子高齢化によるスポーツ少年団団員・指導者の減少や、団体加盟による事務等の負担が大きいことを理由として、母体団体から脱退する団体が増えるなど、市民のライフスタイルの多様化により、特定のスポーツ団体等に登録してスポーツ活動を行う市民が減少傾向にあると考えられます。スポーツ愛好者同士のコミュニティづくりは、市民スポーツを推進するうえで重要な要素と考えていますので、今後も登録者数・団体数の増加につながるようスポーツ団体の広報活動等を積極的に支援します。</p>
--

施 策	1 スポーツをする機会の提供
-----	----------------

施策の対象	市民
-------	----

施策の目指す姿	スポーツに親しむ機会が充実し、より多くの市民がスポーツ活動をしています。
---------	--------------------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツイベント・教室 参加者数	人	7,184	9,923	18,076					27,000		

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツイベントの機会 が十分だと思ふ市民の 割合 【市民アンケート】	%	76.5	75.6	81.4					78.0		

施 策	2 スポーツ施設の利用促進
-----	---------------

施策の対象	市民
-------	----

施策の目指す姿	スポーツ施設をより多くの市民が活用しています。
---------	-------------------------

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツ施設の年間のべ利用者数	人	534,187	626,658	663,613					855,000		
(スポーツ課)	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合体育館 73,306人 コスモスアリーナふきあげ 91,005人 陸上競技場 81,584人 吹上総合運動場8,557人 吹上荒川総合運動公園 9,552人 上谷総合公園 115,487人 赤見台近隣公園 6,399人 糠田運動場 22,845人 天神テニスコート 13,207人 常光テニスコート 836人 東町公園テニスコート 1,783人 ひばり野中央公園テニスコート 2,267人 吹上富士見テニスコート 4,044人 吹上富士見ゲートボール場 1,881人 吹上パークゴルフ場 49,342人 かわさとグラウンドゴルフ場 4,982人 川里中央公園 11,646人 あかぎ公園 8,937人 市内体育施設 507,660人 学校体育施設(体育館・校庭・武道場) 155,953人 合計 663,613人 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>(状況)スポーツ施設の年間延べ利用者数は、基準値(534,187人)と比較して、24.2%増加しました。 (要因)増加した要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、運動を控えていた市民が、活動を再開したことなどが影響したものと考えます。引き続き、感染症対策を講じながら、市民が利用しやすい環境を整備していきます。</p>										

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツの場・施設の満足度【市民アンケート】	%	70.8	71.0	74.6					72.0		
(スポーツ課)	<p>4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 糠田運動場(多目的グラウンド・サッカー場)が荒川堤防強化工事が終わり6月末より利用再開 総合体育館のアリーナ、武道場、卓球場に空調設備を導入(工事のため、9月～2月末まで段階的に施設利用制限あり) コスモスアリーナふきあげのアリーナ、サブアリーナにLED照明を設置 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>(状況)スポーツの場・施設の充足度は、基準値(70.8%)と比較して、3.8%増加しました。 (要因)上昇した理由として、指定管理者により民間のノウハウを生かした運営が効果を発揮していることなどが挙げられます。 今後も適切な施設の維持管理を行い、利用者の要望には迅速に対応できるよう努めていきます。</p>										

成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツ施設維持管理 の不具合による利用支 障件数 (スポーツ課)	件	2	0	0					0		
	4年度の主な取組 ・各施設ともに日常の点検確認を滞りなく実施										
	成果状況/達成度評価 (状況) スポーツ施設維持管理の不具合による利用支障件数は、基準値(2件)と比較して、2件減少し0件でした。 (要因) 日常の点検確認作業を行い、修繕が必要な箇所の早期発見に繋がります。また、施設の利用には支障がありませんでしたが、施設整備についての苦情が増えていることから、施設の整備状況を改善するよう努めます。										

施 策	3 指導者・団体の育成と活用										
施策の対象	スポーツ指導者、スポーツ団体										
施策の目指す姿	スポーツ指導者、団体が育成され、地域でのスポーツ活動がさかんになっています。										
成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツ指導者登録数 (スポーツ課)	人	455	426	395					470		
	4年度の主な取組 ・スポーツ少年団指導者数 395人 ・登録指導者研修は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・スタートコーチ養成講習、普通救命講習、母集団研修、リーダー育成事業を開催										
	成果状況/達成度評価 (状況) スポーツ指導者登録数は、基準値(455人)と比較して、13.2%低下しました。 (要因) 少子高齢化社会を迎え、スポーツ少年団に登録する子どもの減少に伴い、指導者数も年々減少していることが挙げられます。今後は、子ども及び指導者の積極的な登録促進に向けた啓発活動を支援するとともに、指導者の育成、交流にも力を入れ、指導者相互の結びつきの強化を図り、子どもの卒団後も指導者として残っていただけるようにスポーツ少年団に働きかけていきます。										
成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
総合型地域スポーツクラブ参加者数 (スポーツ課)	人	324	254	269					400		
	4年度の主な取組 ・NPO法人鴻巣プレス総合型地域スポーツクラブ 会員数140人 ・笠原いきいきスポーツクラブ 会員数114人 ・既存の総合型地域スポーツクラブの活動支援を実施 年に一度、活動状況について調査を行い、適切な指導を実施										
	成果状況/達成度評価 (状況) 総合型地域スポーツクラブ参加者数は、基準値(324人)と比較して、17.0%低下しました。 (要因) 少子高齢化によるスポーツ人口の減少が要因であると考えられます。今後も、身近な地域で子どもから高齢者までが共にスポーツに親しみ、地域コミュニティづくりに役立てるよう既存団体の継続した活動を支援すると共に、新規団体の創設に向けた積極的な支援を図ります。										
成果指標	単位	基準値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8 目標値	推移	成果状況
スポーツ団体登録者数 (スポーツ課)	人	7,382	6,871	6,666					7,500		
	4年度の主な取組 ・スポーツ協会 登録者数4,727人 事業参加人数延べ7,521人 ・スポーツ少年団 登録者数1,354人 事業参加人数延べ1,177人 ・レクリエーション協会 登録者数573人 事業参加人数延べ197人 ・障がい者スポーツ指導者連絡会 登録者数12人 事業参加人数延べ281人 ・スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、障がい者スポーツ指導者連絡会が各々の団体にて各種大会、講習会、教室等を実施										
	成果状況/達成度評価 (状況) スポーツ団体登録者数は、基準値(7,382人)と比較して、9.7%低下しました。 (要因) コパトン健康マイレージやラジオ体操など、個人や少人数でスポーツや運動をされる方が増えており、団体での活動者数が全体的に減少傾向にあります。また、少子高齢化によるスポーツ少年団団員・指導者の減少や、団体加盟による事務等の負担が大きいくことを理由として、母体団体から脱会する団体が増えております。スポーツ愛好者同士のコミュニティづくりは、市民スポーツを推進するうえで重要な要素と考えていますので、今後も登録者数・団体数の増加につながるようスポーツ団体の広報活動等を積極的に支援します。										

■学識経験者の意見と意見に対する回答

施策5

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>スポーツに関しては、前期計画の当初から高い数値で経過しているため、目標値が他の施策に比べて低めの設定ではないかと感じました。</p> <p>コロナの制限解除後から積極的に事業を展開していただいたこと、状況に合わせた感染対策や空調設備の導入(熱中症対策)など、ありがたく思います。環境の変化なども見通し、必要な事業を積極的・計画的に推進してほしいと思います。</p>	<p>コロナの対策を講じて、4,000人を超える参加者等関係者が集まり、4年振りに鴻巣パンジーマラソンを開催いたしました。今後も社会情勢を注視するとともに、市民ニーズに則り、多くの市民が参加しやすい事業を企画し、本市のスポーツ振興に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
2	<p>パンジーマラソンなどのスポーツイベントが再開できて良かったと思います。難しい判断でしたが、大きな問題もなく実施でき、他の活動の活性化につながったと思います。今後様々な活動が続いていくと思いますが、単にコロナ禍前に戻ることを求めず、既成の枠を超えてより良いものになってほしいと願います。</p>	<p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより、全国的にイベントが再開し始めている中、コロナ禍前から多くの課題があった市民体育祭は、事業の大きな見直しを図り、体験型スポーツフェスティバルとして令和5年10月に開催いたしました。他の事業についても、事業の活性に向けた検討を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
3	<p>不具合による利用支障件数0件は、素晴らしいと思います。日頃の安全点検がしっかり行われているためと思います。今後も維持管理に努めていただき、より活用しやすい施設となるようお願いいたします。</p>	<p>施設の老朽化が進んでおりますが、引き続き日々の点検をしっかりと行い、市民が利用しやすい施設管理を心がけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
4	<p>数値の激減から、とても難しい状況であることを改めて感じました。けれども、小規模の部活動(サークル)が指導者不在のため廃部に追い込まれ行き場を失った生徒もいるようです。より積極的な対策を講じてほしいと思います。</p> <p>少子高齢化が進む中で、人数で評価するのは無理があるように感じました。児童生徒数や団体数との比で算出するのはいかがでしょうか。</p>	<p>団体登録者数の減少及び指導者の減少は少子高齢化が大きく影響しております。令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、少しずつ団体の活動が再開されておりますので、スポーツ少年団をはじめとする指導者の育成について、スポーツ経験者が多く所属するスポーツ協会等のスポーツ団体と相互連携を図り、積極的に指導者の募集・育成の啓発等の支援を図ってまいります。</p> <p>なお、数値は、第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画の施策数値となっており、算定の見直しについては、次期計画策定時に検討いたします。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>

5	<p>スポーツの振興については、コロナ禍の影響を受けながら週1回スポーツをする市民の割合が上回っていることは、評価できる結果です。健康志向が高まる中、スポーツに関心の低い世代の健康づくり施策を期待します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、団体の活動はコロナ禍前と比較して減少している一方で、他者に関わらず、家族や個人単位で運動・スポーツをする方が増加傾向にあります。現在、ポッチャをはじめとするパラスポーツやノルディックウォーキングをはじめとするニュースポーツの普及促進に努めており、市民ニーズに合わせたスポーツイベントを企画するなど、引き続き市民の健康づくりにつながるスポーツや運動を始めるきっかけづくりに取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
6	<p>スポーツ指導者の登録者数については、目標値に達していませんが、少子化の影響で子どもの人口も減っているため、目標値を意識するよりは、適正な数を把握することが必要ではないでしょうか。</p> <p>今後、中学校の部活動の地域移行も進む中で、指導者の奪い合いになってしまわないようにしっかりと対応を求めます。</p>	<p>スポーツ指導者の数値はスポーツ少年団の指導者数を計上しております。中学校の部活動地域移行については、総合型地域スポーツクラブや成人のスポーツ経験者が多く所属するスポーツ協会、その他関係機関と連携を図り、指導者の育成等を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
7	<p>スポーツをする機会の提供については、比較的多くの市民の参加があり満足度も低くないと感じます。今後は、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツを取り入れたり、市民が求めているニーズにあったスポーツイベントの企画を期待します。</p>	<p>市民ニーズに則したイベントの開催は、機会の提供による満足度の向上に繋がると考えております。令和5年度は、従前の課題や県内の状況を総合的に勘案し、参加者が自治会を中心とした市民体育祭事業を大きく見直し、グランウンド・ゴルフやモルックなど3世代が気軽に参加できる体験型のスポーツフェスティバル事業を開催し、延べ約6,300人の参加者が集まりました。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
8	<p>スポーツ施設の設備と有効活用について、不具合による利用支障件数0は素晴らしいです。</p> <p>日頃からしっかり安全点検を行っている成果だと思います。</p> <p>ですが、今後は、老朽化問題もあるかと思えます。早期に対策を講じ、利用者が安心安全に利用できるよう、引き続き維持管理に努めていただければと思います。</p>	<p>施設の老朽化が進んでおりますが、設備の不備等に早急に対応できるよう日々の点検をしっかりと行い、市民が安心安全に利用できる施設管理を心がけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>

9	<p>指導者・団体の育成と活用については、少なからずコロナ禍の影響を受けているので、多少の減少は仕方ないと思います。指導者の導きにより子どもたちの成長は大きく左右されます。スポーツ指導者の育成等を図り、指導者の資質向上を期待します。</p>	<p>指導者の募集や人材育成、資質向上を推進しているスポーツ少年団をはじめとする各スポーツ団体の活動を積極的に支援してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
---	--	---

■全体を通じての総合的な学識経験者の意見と意見に対する回答

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>たくさんのデータの集積・分析、お疲れ様です。評価結果をぜひ翌年度に生かしてほしいと思います。</p> <p>成果の推移を基準値から目標値までの折れ線グラフで示したのはとてもわかりやすくよいと思いました。成果状況をお天気マークで図示したことも一目でわかるので良いと思います。ただ、判定区分の内容を見ると、判断のターゲットが目標値であったり前年値であったり基準値であったりと、一貫していないのではないかと気になりました。重視したいのは、目標値の達成に向けて1年1年成果を積み上げられているかどうかのかなかなと思います。また、前年度と比較してプラスであっても基準値さえ下回ってしまったものは「改善傾向」と捉えてよいものか、もっと重く受け止めたいです。プラスに転じるための思い切った取り組みが必要と思います。</p>	<p>点検・評価の方法につきましては、令和4年度に評価の方法が分かりづらいとのご指摘をいただいたところです。第6次鴻巣市総合振興計画が、後期基本計画に移行するのに併せ、成果状況を5段階のお天気マークで図示し、成果の推移をグラフで表示するなどレイアウトを変更しました。</p> <p>判定区分の数値の関係につきましては、経年の変化・推移も考慮し、横ばいの判定をする必要上、基準値と現状値、目標値の3数値を参照しています。特に2つの傾向につきましては、基準値を上回っているが前年度に対して悪化傾向の推移は悪化傾向、逆に現状地を下回っているが前年値に対して改善傾向にあるものは改善傾向とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
2	<p>コロナ禍を経て、教員の働き方改革やICTの活用、不登校支援など、教育行政に置かれた課題は数多あります。こうした課題に果敢に取り組む中で、行政だけで解決しようとせず、PTAも含めて、巻き込みながら進めていくことが重要だと考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、本市におきましても教育行政に係る諸課題は、多数ございます。そのような課題を解決するためには、行政機関のみならず、各学校や家庭・PTA・地域との連携が不可欠と捉えております。</p> <p>今後もPTAや地域との連携を図りながら教育行政に係る諸課題の解決に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
3	<p>教育委員会として、取り組んでいる施策について概ね成果が出ていると感じます。評価するためには指数の数値解析は必要ですが、教育に関しては数値評価では現れにくい面や時間がかかる面があると認識します。長期的視野にわたって取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>児童生徒が鴻巣で学び、子育て世代となったとき、子育てをしていけるような環境が築けるよう期待します。</p>	<p>教育に関しては数値で評価が現れにくく、時間がかかる面がある点に留意しながら、各施策・基本事業の目標値達成に向けた取組を実施し、長期的視野で児童生徒の将来を見据えた環境整備等を行っていきたいと考えております</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>

VI 結びに

「教育委員会の事務に関する点検・評価」は、冒頭で述べたように「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年度より実施しています。今年度の点検・評価は、第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画(令和4年度から令和8年度)の令和4年度の取組を対象といたしました。

成果状況については、7割程度の指標が、令和2年度の基準値を上回り、設定した目標値に向けて推移している一方で、残りの指標は、進捗状況が思わしくない状況となっており、それらの指標の施策については、具体的な取組状況や指標の達成状況をしっかりと把握するとともに、施策の成果と課題を明らかにしながら、効果的な工夫・改善に取り組んでまいります。

教育への取組は、事業の実施や予算の投入が直ちに結果となって表れるものばかりではありません。また、その成果を具体的に数値化することが難しい上に、時間がかかる取組も数多くあります。しかし、教育委員会といたしましては、今後とも実証的に成果を検証する観点から、この点検・評価の結果及び学識経験者からいただいたご意見・ご提言を生かし、課題の解決に向けた効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

なお、本報告書につきましては、市議会に提出するとともに、市のホームページにて公表いたします。

最後に、今回の教育委員会の事務の点検・評価に当たっては、その客観性を確保するため、次の学識経験者の方々に、ご意見・ご提言をいただきました。心からお礼申し上げます。

令和6年2月9日

いち かわ えい こ
市 川 栄 子 元鴻巣市立小学校長

よし だ ひろ き
吉 田 大 樹 鴻巣市PTA連合会会長

ち ば あき よ
千 葉 晃 代 鴻巣市スポーツ協会

(敬称略)

Ⅶ 用語解説

用語	説明
いきいき先生	会計年度任用職員として教育活動の補助・支援を行う職員のこと、令和4年度は市内小・中学校すべてに51名配置しています。
特別支援教育指導員	会計年度任用職員として特別支援学級の教育活動の補助・支援を行う職員のこと、令和4年度は特別支援学級が設置されている市内小・中学校23校に64名配置しています。
日本語指導員	会計年度任用職員として市内小・中学校に在籍している外国籍の児童生徒への支援を行う職員のこと、令和4年度は市内小・中学校5校に3名配置しています。
学力向上支援員	会計年度任用職員として市内小学校の算数の授業に重点をおいた支援を行う職員のこと、令和4年度は市内小学校に9名配置しています。
学校応援団	保護者や地域住民による学校の教育活動を支援する組織のこと、市内小・中学校すべてに設置されています。
鴻巣市「のすっ子宣言」	平成28年7月、鴻巣市未来議会において、子どもたちが日常生活の中で自ら実践する行動指針として提案・採択された宣言のことです。「自分から笑顔であいさつします」など、6つの宣言があります。
埼玉県小・中学校 学力・学習状況調査	小4～小6の国語・算数、中1～中3の国語・数学、中2と中3の英語を対象に行われる県内一斉の調査です。毎年4月に実施しています。
プリントデータベース	市教育委員会が、学習プリント等を学年や教科にわけて、パソコン上に整理し、各学校で自由に閲覧・活用できるようにしています。
大学生学習ボランティア	教職を目指している大学生を募集し、学校で児童生徒の学習や学校行事、部活動などへの支援を行うことで、実際の教育現場を知ってもらう機会としています。令和4年度は市内小・中学校11校に14名配置しています。
新体力テスト	50m走やボール投げなどの測定を毎年全学年で実施し、体力・運動能力を調査しています。

鴻巣市「のすっ子宣言」



わたし
私たちは、(の)びのびとした心こころをもち、

(す)こやかな体からだをつくり、

(つ)まずいてもくじけない

のすっこ(子)をめざし、宣言せんげんします。

一 自分じぶんから笑顔えがおであいさつします。

二 お互たがいを認めみとめ、助け合たすいます。

三 健康けんこうな心こころと体からだをつくりまします。

四 学校がっこうもまちもきれいにします。

五 鴻巣こうのすの文化ぶんかを「守まもり・伝つたえ・広ひろめ」まします。

六 自分じぶんから学まなび、夢ゆめを咲さかせまします。